

各位

会社名 株式会社オリエントコーポレーション
 代表者 代表取締役社長 飯盛 徹夫
 (コード番号: 8585、東証第一部)
 問合せ先 財務部 I R 室長 西田 隆浩
 (TEL. 03-5877-1111)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は、流通株式比率に関しては2027年3月までに上場維持基準を充たすための取組を進めて参ります。

	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の状況 (移行基準日時点)	5,030,180 単位	758 億円	29.2%	5.6 億円
上場維持基準	20,000 単位	100 億円	35%	0.2 億円
計画書に記載の項目			○	

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

当社は、今年度を最終年度とする中期経営方針(※1)において“Innovation for Next Orico”を基本方針に掲げ、コロナ禍においても、プロセスイノベーションを通じたコスト削減、フィリピン・インドネシアへのアジア展開拡大、新規事業領域の拡大に向けた異業種企業との協業など、基本戦略に基づく取組を着実に進展させるとともに、重要な経営課題であったI種優先株式の処理を全て完了いたしました。

現在、当社は、次期中期経営計画の策定を進めていく中、環境変化を捉えつつ、次なる成長に向けた戦略への取組に注力しているところであり、今後、より高いレベルで規律あるガバナンス体制の構築に取り組んでいくことは、企業価値向上の観点から極めて重要な経営課題であると考えております。

上記基本的な考えのもと、当社は「プライム市場」を選択し、当社課題である流通株式比率の向上に向けては、固定的な株主の当社株式の保有比率の引き下げにより上場維持基準を充足させ

るよう努めて参ります。また、その計画期間は、当社株式の流動性や株価への影響も考慮に入れ、2027年3月までといたしました。

当社といたしましては、今後とも持続的成長の実現やコーポレートガバナンスの一層の充実等を通じ、中長期的な企業価値の向上に努めて参ります。

※1 中期経営方針

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8585/tdnet/1639144/00.pdf>

以 上